

まだらの風



令和7年6月18日
学校便り No.6
校長 原口 真

『 育てよう自分らしさ、認めよう仲間の良さ、つなげよう馬渡の力 』
～自分を愛し、周りの人を愛し、島を愛する児童生徒に～

5月27日、非常時防災に備えたヘリコプター搭乗訓練をおこないました。子どもたちは空から見る馬渡の景色に目を輝かせながらも、災害が起きたときの避難や自分にできることに思いを巡らせました。

生活科見学(1・2年)、社会科見学(3・4、5・6年)～地域の良さを体験・発見～

5月30日、小学生8名が唐津市・玄海町で生活科見学・社会科見学を行いました。各学級ごとに呼子朝市、七ツ釜、唐津城、唐津警察署、唐津消防署、久里浄水場、唐津海上保安部、エネルギーパークなどを見学・体験することを通して、身近な地域で暮らしを支えている施設、農水産業や電力事業、郷土の歴史や自然環境にふれて、見聞を広げてきました。地域の良さを発見し、生活科や社会科で学んだ内容への理解を深めることができました。



海青中との交流学习～大人数の中での学校生活を体験～

6月3日、海青中学校で交流学习を行いました。はじめての体験で生徒たちはみな緊張の面持ちでしたが、海青中学校では黑板アートで歓迎の気持ちを表現してくれて、どのクラスでも馬渡中の生徒達を快く受け入れてくれました。多くの生徒と関わる活動を体験することを通して、同じ鎮西町内の生徒との交流を深めること、大人数の中で対話的・協働的な学びに取り組むこと、高校生活へのイメージをもつことができました。



唐津市教育の日～サステナブルな社会づくりに馬渡島からメッセージを～

6月7日、唐津市教育の日を開催しました。1、2時間目は各学級でふれあい道德の授業を行いました。中学1・2年では澁谷先生が「命を見つめて」と題し生きることの重みについて実体験をもとに語りました。

3、4時間目は佐賀県循環型社会推進課、唐津ファーム&フードの協力のもと「プラスチックスマート(プラスマ)Life さが」の体験活動を行いました。「プラスマ Life さが」とは、使い捨てプラスチックの削減や自然に優しいプラスチック代替品の活用など、環境保全を進める県の取り組みです。まず、唐津南高校の生徒達(山下さんも)が環境問題について講演を行い、南高で取組んでいるプロジェクトや開発した商品を紹介しました。次に、サガン鳥栖が取組んでいる社会貢献活動が紹介されました。続いて唐津ファーム&フードの小嶋さんがペットボトルキャップから馬渡島の形をしたオリジナルキーホルダーを制作し、プラスチックの資源循環を体験させてもらいました。

午後からは田尻海岸でビーチクリーン活動を行いました。学校の子どもたちに加え、保護者さん、唐津南高の生徒さん、ウイントスくんも参加し軽トラック2台分の海洋漂着ごみを回収しました。ゴミの量は34袋、ペットボトルだけに限っても19枚分もの量になりました。自分たちが過ごす宝物のような馬渡島の海を守るために、子どもたちの手でできる取り組みや情報発信を続けていきます。

今回の活動は「離島から発信するサステナブルアイランドの未来―佐賀県・馬渡島で大規模ビーチクリーン&アップサイクルイベント開催!」と[西日本新聞](#)、[毎日新聞](#)など各種メディアで紹介されていますので是非ご覧ください。

